

「EOS R システム」の大口径広角・標準ズームレンズ 2 機種を発売
ズーム全域での開放 F 値 2.8 と IS 搭載により撮影表現の幅が拡大

キヤノンは、「EOS R システム」の核となる交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、プロ・ハイアマチュアユーザー向けの大口径広角ズームレンズ“RF15-35mm F2.8 L IS USM”および大口径標準ズームレンズ“RF24-70mm F2.8 L IS USM”を 2019 年 9 月下旬より発売します。



RF15-35mm F2.8 L IS USM



RF24-70mm F2.8 L IS USM

新製品 2 機種は、描写性能や操作性、堅牢（けんろう）性などで最高水準の性能を追求した「L (Luxury)」レンズです。「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカス^{※1}により、画面の中心部から周辺部まで高画質を実現しています。また、新たにシャッター速度換算で 5 段分^{※2}の効果を持つ「IS (Image Stabilizer) =手ブレ補正機構」とキヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」を搭載し、快適な静止画・動画撮影が可能です。「RF レンズ」のラインアップに広角・標準からなる「F2.8 L IS ズームレンズシリーズ」を新たに加えることで、EOS R システムを強化していきます。

■ 表現の幅を広げる大口径広角ズームレンズ “RF15-35mm F2.8 L IS USM”

焦点距離 15mm から 35mm のズーム全域で、開放 F 値 2.8 を実現しています。現行の EF レンズ^{※3}と比較して焦点距離が 1mm 広角化し、建築や風景などにおいて、被写体から遠く離れずに撮影することや遠近感を強調した写真表現が可能です。さらに、3 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」と 2 枚の「UD レンズ^{※4}」を含む 12 群 16 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、ズーム全域での高画質を実現しています。

■ 多様なシーンに対応する大口径標準ズームレンズ “RF24-70mm F2.8 L IS USM”

焦点距離 24mm から 70mm のズーム全域で、開放 F 値 2.8 を実現しています。広角から中望遠までをカバーし、スナップから風景、ポートレート、動画撮影など多様な撮影シーンに対応可能な、常用標準ズームレンズです。さらに、3 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」と 3 枚の「UD レンズ」を含む 15 群 21 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、ズーム全域での高画質を実現しています。

製品名	希望小売価格	発売日
RF15-35mm F2.8 L IS USM	オープン価格	2019 年 9 月下旬
RF24-70mm F2.8 L IS USM	オープン価格	2019 年 9 月下旬

※1 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

※2 “RF15-35mm F2.8 L IS USM”：焦点距離 35mm、「EOS R」使用時。CIPA 規格に準拠。“RF24-70mm F2.8 L IS USM”：焦点距離 70mm、「EOS R」使用時。CIPA 規格に準拠。

※3 「EF16-35mm F2.8 L III USM」（2016 年 10 月発売）。

※4 「UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

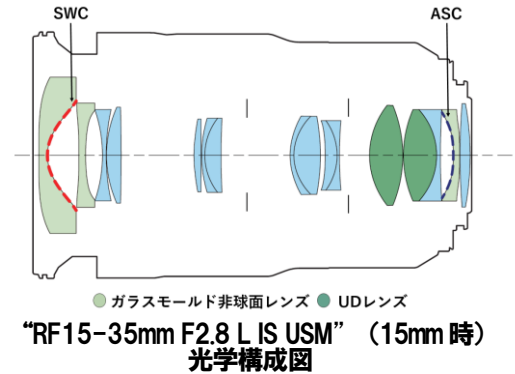
050-555-90002

● EOS ホームページ : canon.jp/eos

< “RF15-35mm F2.8 L IS USM” の主な特長 >

1. ズーム全域で高画質を実現した焦点距離 15-35mm の広角ズームレンズ

- ・「RFマウント」の大口径・ショートバックフォーカスがもたらすレンズ設計の高い自由度により、高画質化と小型化を両立。カメラ側の撮像面近くに大口径レンズを配置できるため、画面の中心部から周辺部まで高画質を実現。
- ・焦点距離 15-35mm を実現。現行の EF レンズと比較して焦点距離が 1mm 広角化。建築や風景などにおいて、被写体から遠く離れずに撮影することや、より遠近感を強調した写真表現が可能。
- ・露出の設定や調整がしやすいとプロやハイアマチュアユーザーから定評のあるズーム全域での開放 F 値 2.8 を実現。低照度下においても速いシャッター速度で撮影でき、被写体ブレを低減した撮影が可能。
- ・3 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」と 2 枚の「UD レンズ」を含む 12 群 16 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減。
- ・キヤノン独自の特殊コーティング「SWC (Subwavelength Structure Coating)」と「ASC (Air Sphere Coating)」の 2 種類を採用。キヤノン独自の技術を惜しみなく採用し、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストなどの現象を低減し、さらなる高画質を実現。



焦点距離 15mm への広角化

2. IS と「ナノ USM」の搭載による快適な静止画・動画撮影

- ・最新のマイクロプロセッサ搭載によるレンズ制御精度の向上とカメラと協調して高精度にブレを低減する「デュアルセンシング IS」により、シャッタースピード換算で 5 段分の高い手ブレ補正効果を実現。また、動画撮影時は、カメラと協調する「コンビネーション IS[※]」により、手ブレを低減。
- ・キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」の搭載により、静止画撮影時における高速・高精度 AF と動画撮影時における滑らかな AF を実現し、快適な撮影が可能。

※ 「コンビネーション IS」使用時は、撮影画角が狭くなります。

3. 防じん・防滴構造やフッ素コーティングの採用など耐久性に配慮した設計

- ・マウント部、コントロールリング、フォーカスリングに防じん・防滴構造を採用[※]し、プロやハイアマチュアユーザーに配慮した設計。
- ・レンズ最前面と最後面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

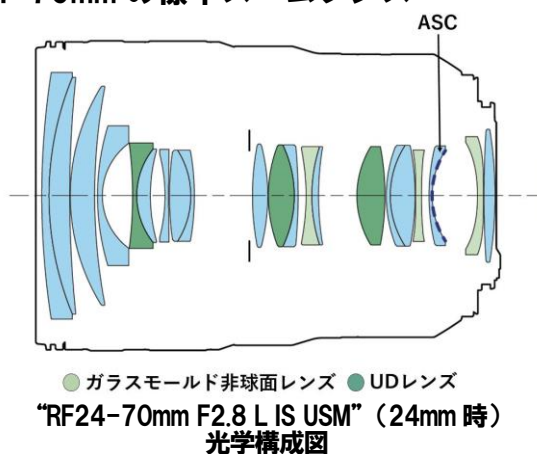


…防じん・防滴シーリング

< “RF24-70mm F2.8 L IS USM” の主な特長 >

1. ズーム全域で高画質を実現した焦点距離 24-70mm の標準ズームレンズ

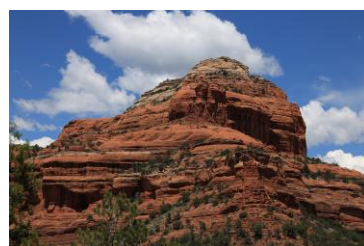
- ・「RF マウント」の大口径・ショートバックフォーカスがもたらすレンズ設計の高い自由度により、小型でありながら高画質を実現。カメラ側の撮像面近くに大口径レンズを配置できるため、画面の中心部から周辺部まで高画質な撮影が可能。
- ・露出の設定や調整がしやすいとプロやハイアマチュアユーザーから定評のあるズーム全域での開放 F 値 2.8 を実現。広角 24mm から中望遠 70mm の焦点距離を生かし、スナップやポートレート、風景など多様な撮影シーンに対応。低照度下においても、速いシャッター速度で撮影でき、被写体ブレを低減した撮影が可能。
- ・3 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」と 3 枚の「UD レンズ」を含む 15 群 21 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減。
- ・特殊コーティング「ASC (Air Sphere Coating)」の採用により、レンズ面に対して垂直に近い角度で入射する光に対して大幅な反射防止効果を発揮。フレアやゴーストの発生を抑制し、さらなる高画質に貢献。



広角 24mm



標準 50mm



中望遠 70mm

2. IS と「ナノ USM」の搭載による快適な静止画・動画撮影

- ・最新のマイクロプロセッサ搭載によるレンズ制御精度の向上とカメラと協調して高精度にブレを低減する「デュアルセンシング IS」により、シャッタースピード換算で 5 段分の高い手ブレ補正効果を実現。また、動画撮影時は、カメラと協調する「コンビネーション IS^{*}」により、手ブレを低減。
- ・キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」の搭載により、静止画撮影時における高速・高精度 AF と動画撮影時における滑らかな AF を実現し、快適な撮影が可能。

※ 「コンビネーション IS」使用時は、撮影画角が狭くなります。

3. 防じん・防滴構造やフッ素コーティングの採用など耐久性に配慮した設計

- ・マウント部、コントロールリング、フォーカスリングに防じん・防滴構造を採用^{*}し、プロやハイアマチュアユーザーに配慮した設計。
- ・レンズ最前面と最後面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。



…防じん・防滴シーリング

< 主な製品仕様 >

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。